



2026年9月4日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

11,812万kW

13時30分、118,121 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

1,433万kW

12時、14,328 MW (自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

210万kW

4時、2,100 MW

◇ 再エネ最大需要比

25.7%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

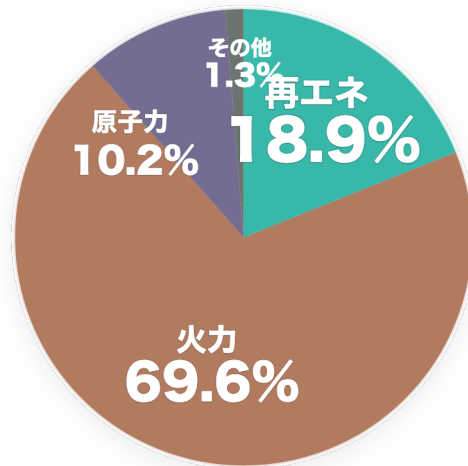
東京

116 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

118 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 46.2%

37.0 GWh

出力抑制量

1.4 GWh

最大: 東北 1.4 GWh

揚水・蓄電の充電

37.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に3,826万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで46.2%でした。
- 出力抑制は東北。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	18.9%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	458 GWh	太陽光・水力・風力・バ イオマス・地熱
総発電電力 量	2,421 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	25.7%	12時
出力抑制量	1.4 GWh	最大: 東北
揚水・蓄電 の充電	37.5 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	46.2%	37.0	0.0	送電 7.2
東北	33.5%	109	1.4	送電 118
東京	12.7%	83.9	0.0	受電 116
中部	20.4%	59.0	0.0	受電 89.8
北陸	33.2%	29.3	0.0	送電 14.1
関西	13.6%	49.7	0.0	受電 44.2
中国	10.0%	18.1	0.0	送電 10.9
四国	17.9%	18.4	0.0	送電 32.0
九州	17.1%	51.1	0.0	送電 45.0
沖縄	10.4%	3.1	0.0	—



2026年9月4日の供給実績

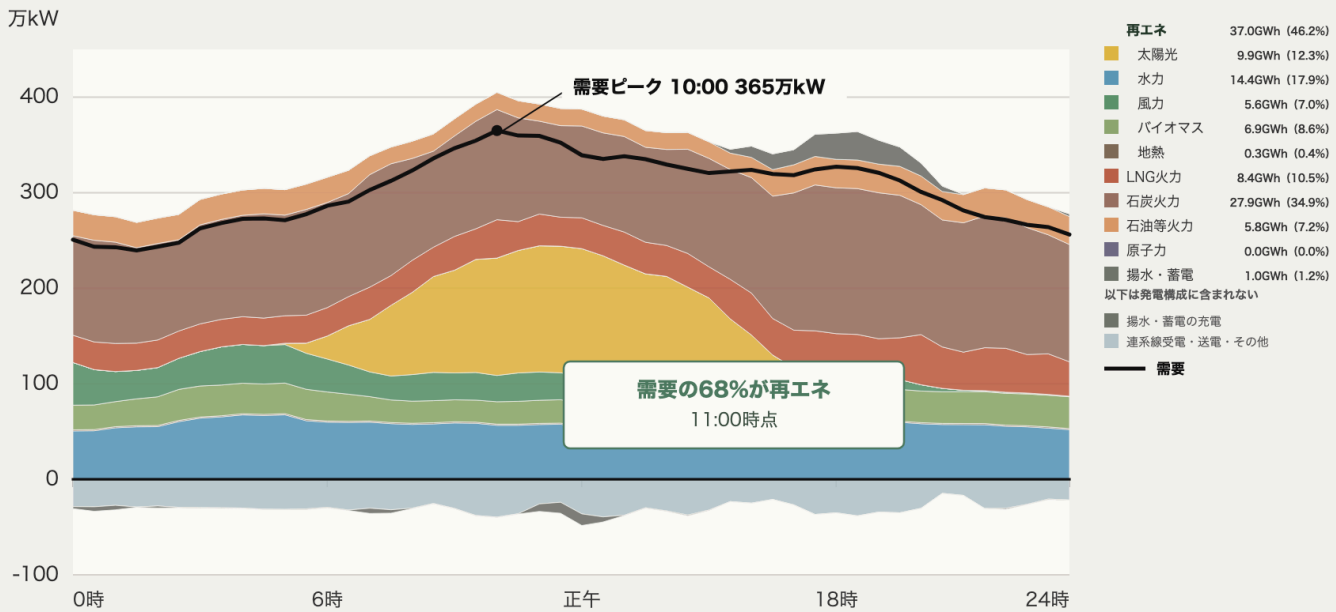
北海道エリア

再エネ

37.0GWh

(発電電力量ベース46.2%)

北海道エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.1GWh

需要ピーク

10:00、365万kW

連系線・その他

7.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク134万kW、風力ピーク45万kWで、時間別の再エネ最大需要比は71.2%だった。



2026年9月4日の供給実績

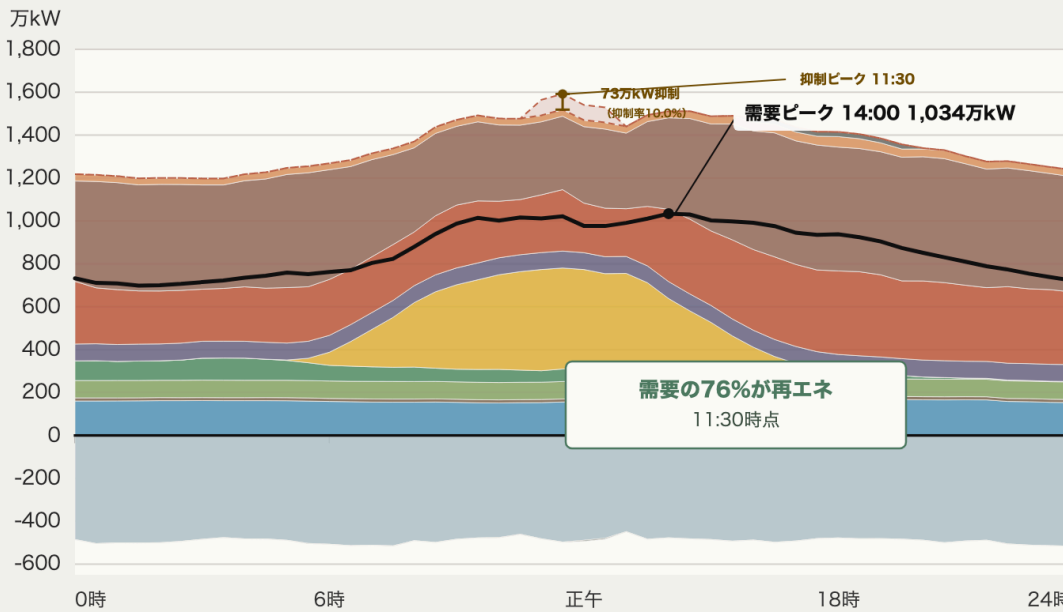
東北エリア

再エネ

108.9GWh

(発電電力量ベース33.5%)

東北エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 325GWh
(3,252万kWh)

再エネ	108.9GWh (33.5%)
太陽光	33.7GWh (10.4%)
水力	38.7GWh (11.9%)
風力	13.5GWh (4.2%)
バイオマス	19.6GWh (6.0%)
地熱	3.4GWh (1.0%)
LNG火力	72.6GWh (22.3%)
石炭火力	116.0GWh (35.7%)
石油等火力	8.0GWh (2.4%)
原子力	18.9GWh (5.8%)
揚水・蓄電	0.9GWh (0.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出力抑制量

火力 1.4GWh
本邦発電可能量の0.7%
抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

325.2GWh

需要ピーク

14:00、1,034万kW

連系線・その他

117.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

1.4GWh

概況

東北は、太陽光ピーク472万kW、風力ピーク104万kWで、時間別の再エネ最大需要比は79.2%だった。



2026年9月4日の供給実績

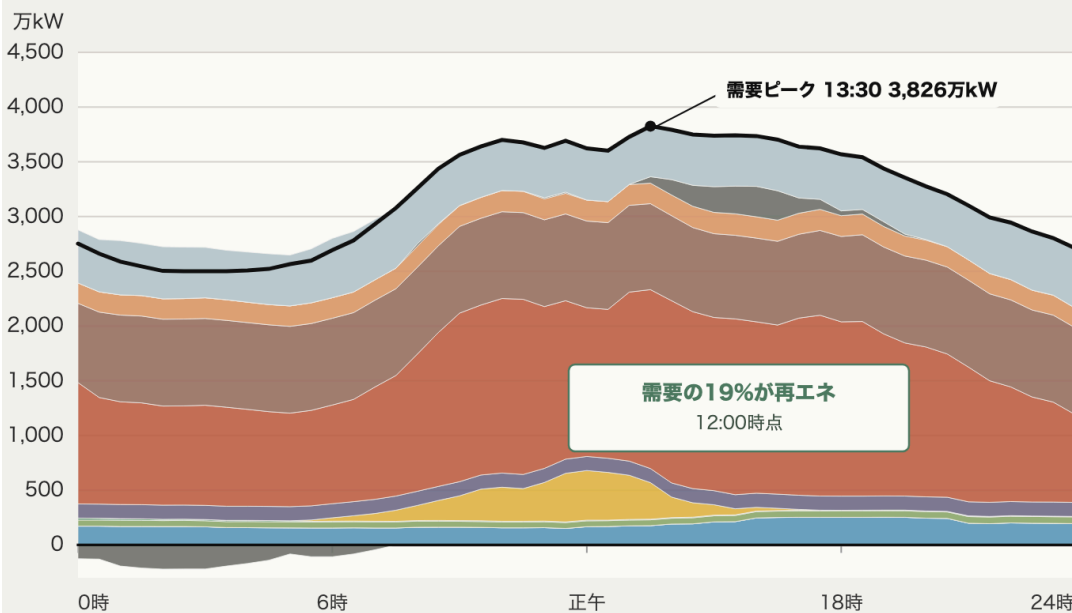
東京エリア

再エネ

83.9GWh

(発電電力量ベース12.7%)

東京エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 660GWh
(6,604万kWh)

再エネ	83.9GWh (12.7%)
太陽光	23.4GWh (3.5%)
水力	45.2GWh (6.9%)
風力	1.7GWh (0.3%)
バイオマス	13.5GWh (2.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	302.2GWh (45.8%)
石炭火力	188.8GWh (28.6%)
石油等火力	45.2GWh (6.8%)
原子力	31.0GWh (4.7%)
揚水・蓄電	9.3GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

660.5GWh

需要ピーク

13:30、3,826kW

連系線・その他

116.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

11.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク453万kW、風力ピーク18万kWで、時間別の再エネ最大需要比は18.8%だった。



2026年9月4日の供給実績

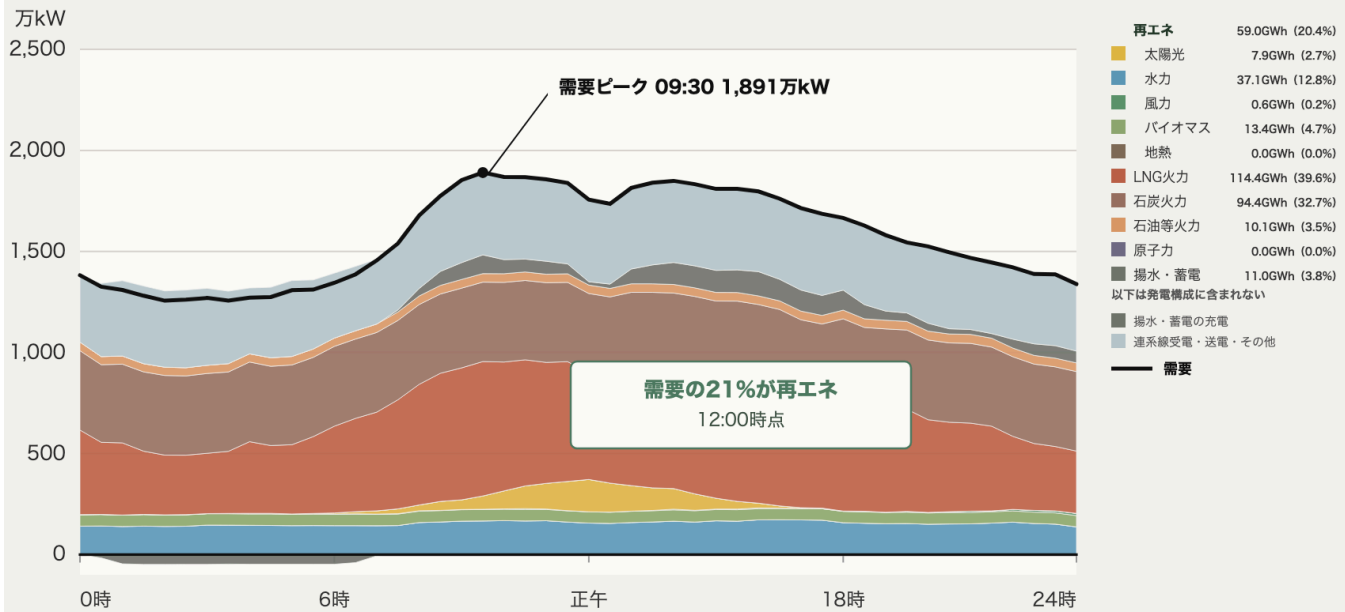
中部エリア

再エネ

59.0GWh

(発電電力量ベース20.4%)

中部エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年9月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

289.0GWh

需要ピーク

09:30、1,891万kW

連系線・その他

89.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク160万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は21.2%だった。



2026年9月4日の供給実績

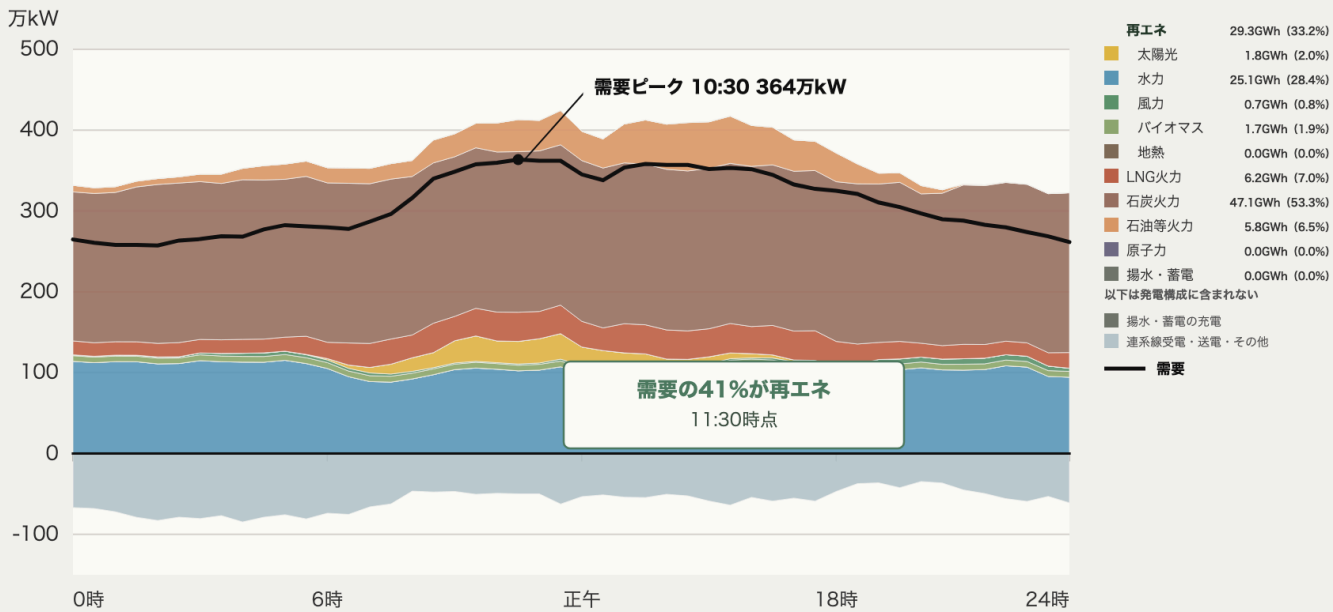
北陸エリア

再エネ

29.3GWh

(発電電力量ベース33.2%)

北陸エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

88.3GWh

需要ピーク

10:30、364万kW

連系線・その他

14.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク32万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は47.2%だった。



2026年9月4日の供給実績

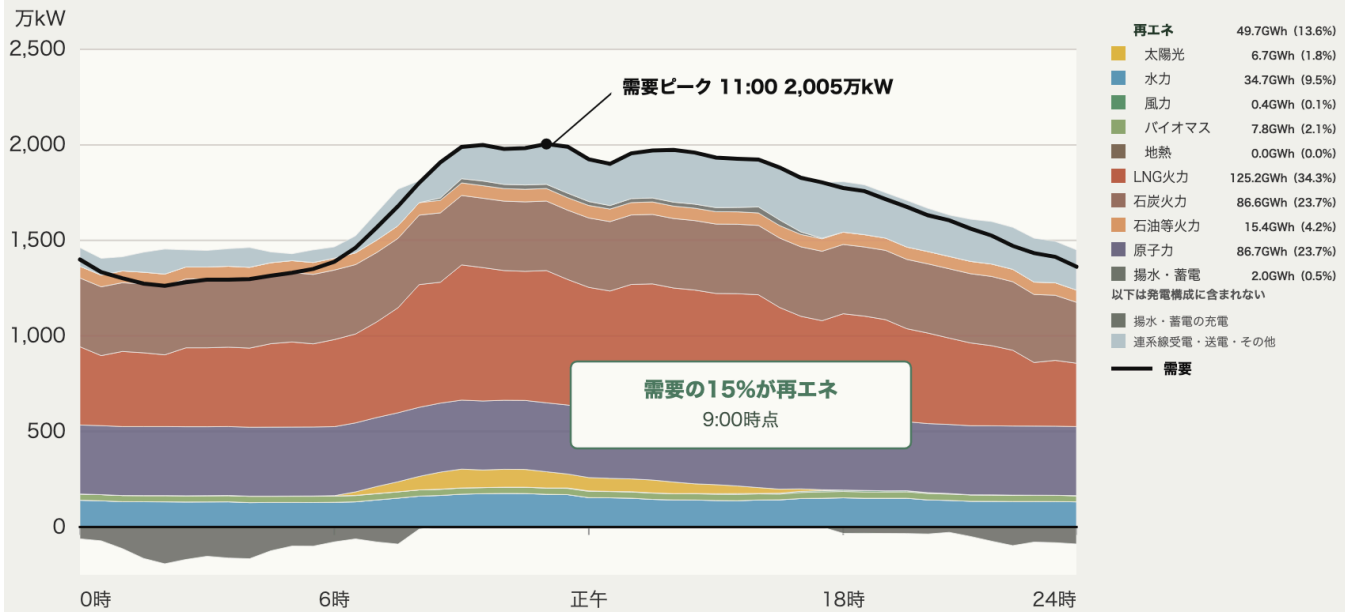
関西エリア

再エネ

49.7GWh

(発電電力量ベース13.6%)

関西エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

365.6GWh

需要ピーク

11:00、2,005万kW

連系線・その他

44.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

12.8GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク98万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は15.3%だった。



2026年9月4日の供給実績

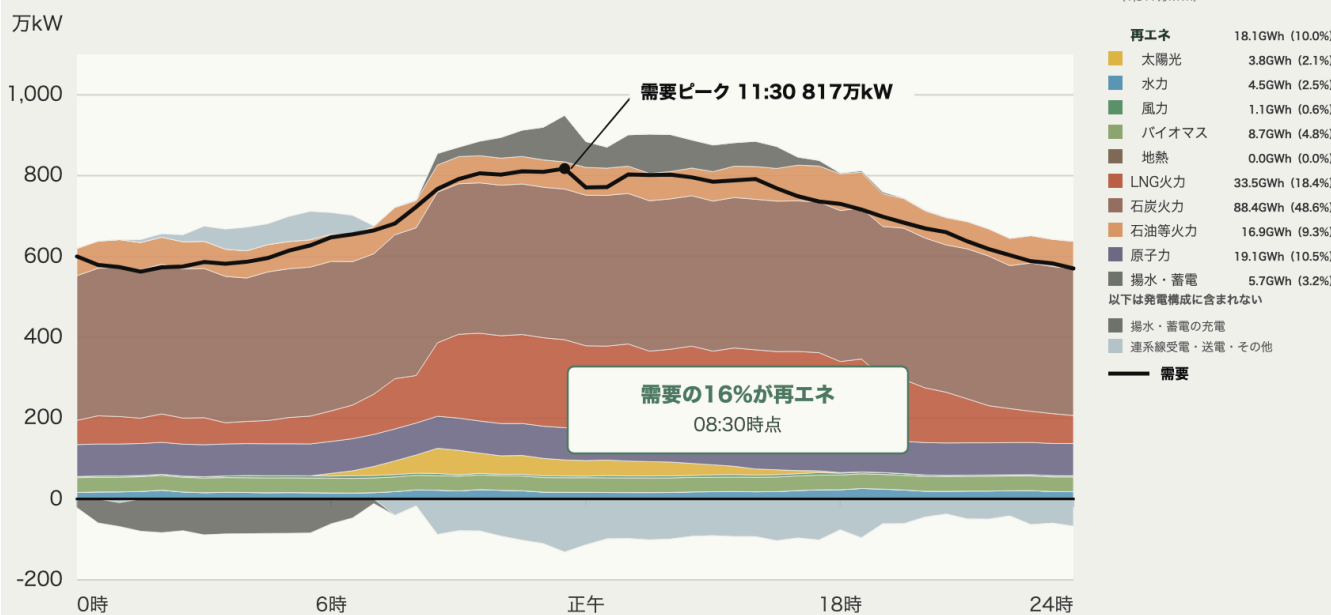
中国エリア

再エネ

18.1GWh

(発電電力量ベース10.0%)

中国エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

181.7GWh

需要ピーク

11:30、817万kW

連系線・その他

13.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク62万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は16.4%だった。



2026年9月4日の供給実績

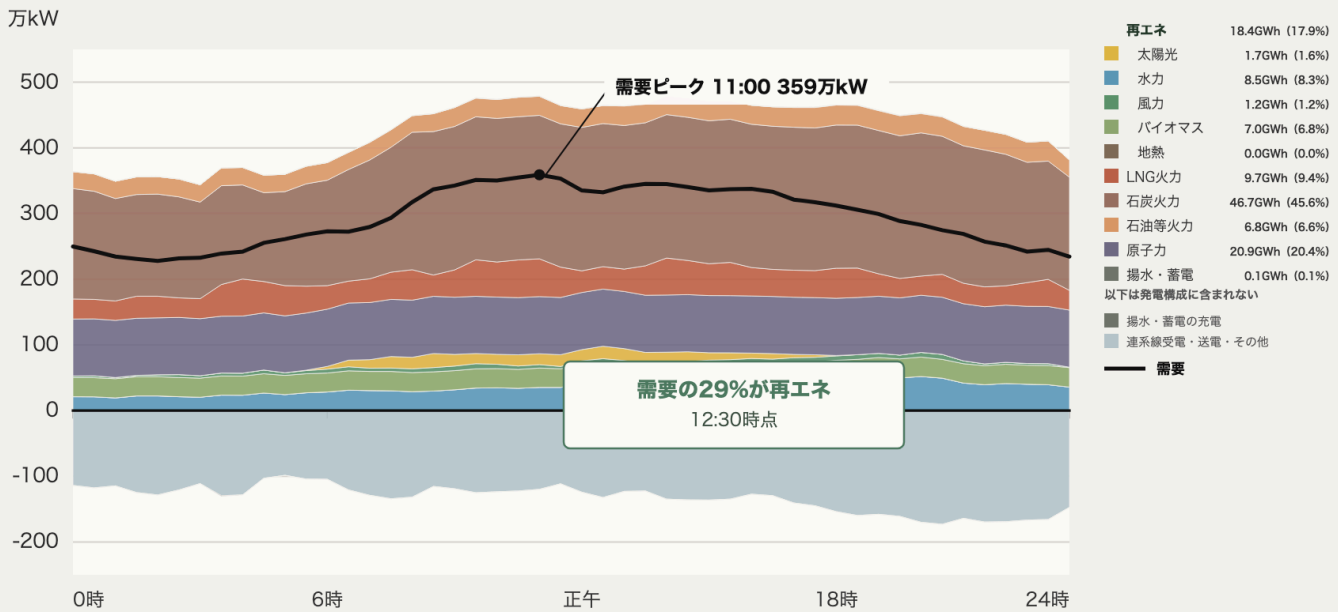
四国エリア

再エネ

18.4GWh

(発電電力量ベース17.9%)

四国エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

102.4GWh

需要ピーク

11:00、359万kW

連系線・その他

32.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク21万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.3%だった。



2026年9月4日の供給実績

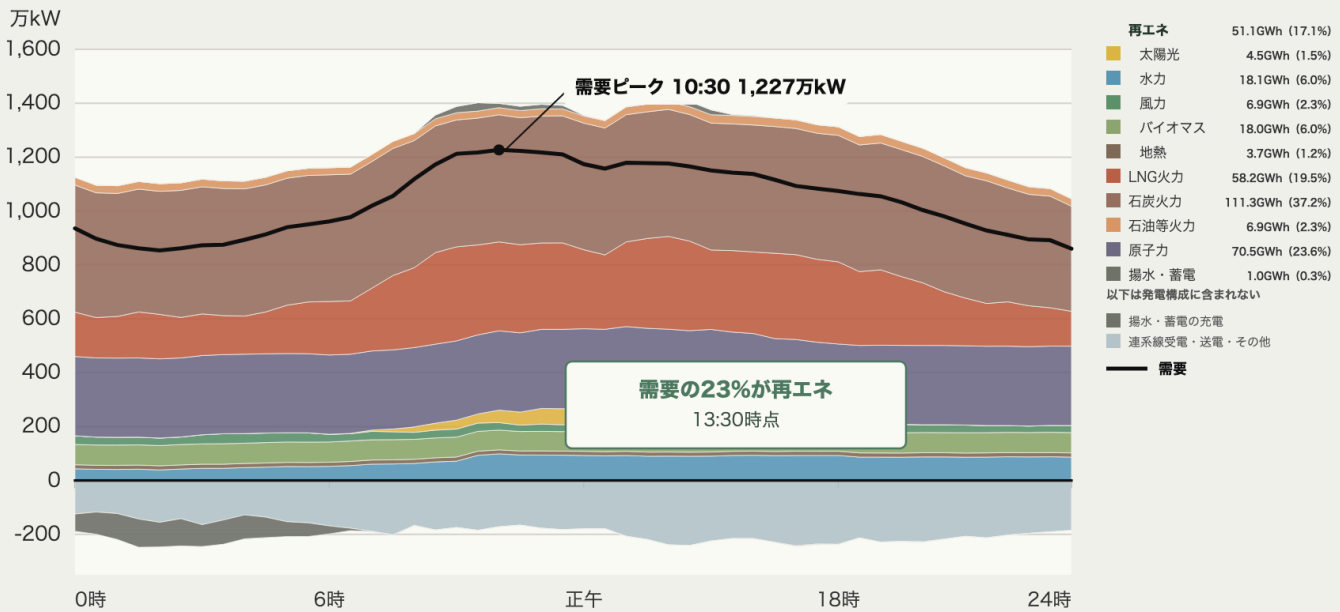
九州エリア

再エネ

51.1GWh

(発電電力量ベース17.1%)

九州エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

299.0GWh

需要ピーク

10:30、1,227万kW

連系線・その他

45.0GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク69万kW、風力ピーク37万kWで、時間別の再エネ最大需要比は23.7%だった。



2026年9月4日の供給実績

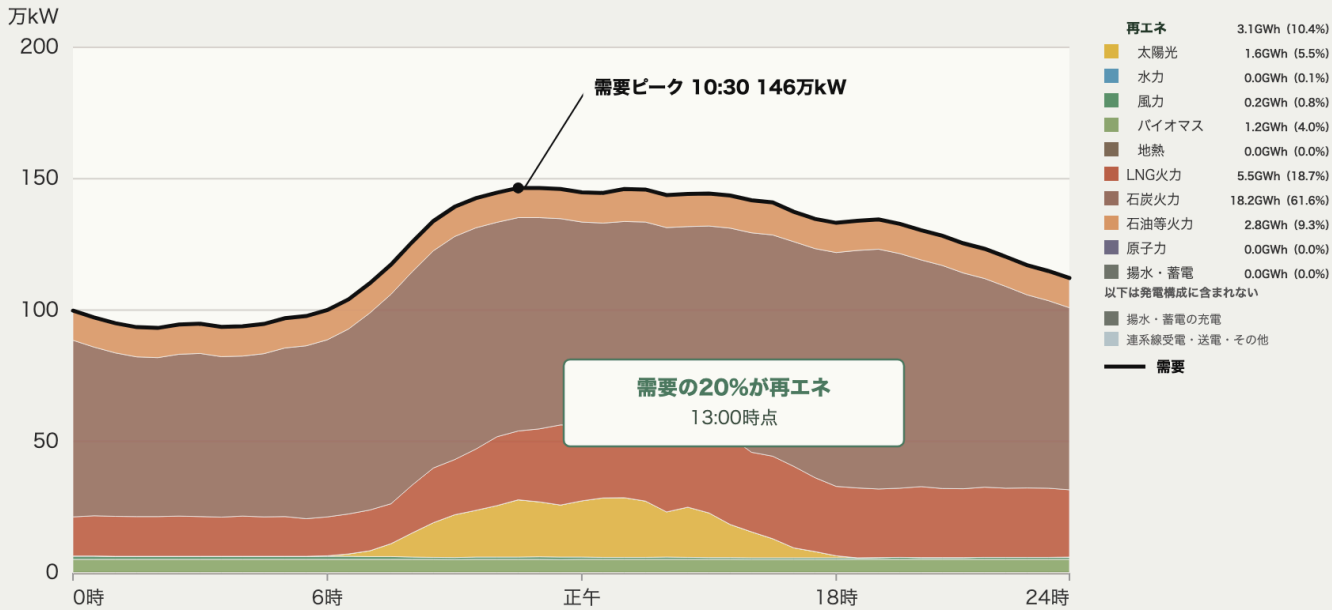
沖縄エリア

再エネ

3.1GWh

(発電電力量ベース10.4%)

沖縄エリア 2026年9月4日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年9月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

29.6GWh

需要ピーク

10:30、146万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク23万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は19.7%だった。